

## 発生動向の概況

インフルエンザの流行はピークを過ぎ、県下全域で減少しています。ウイルス型は A 香港型が主流でしたが、2 月末以降は A ソ連型の比率が増加しており、今シーズン A 型に 2 度罹った例も散見されています。また、「インフルエンザ早期把握システム」の報告では南予を中心に B 型が増加しているようです。集団かぜの届出も 3 月以降南予を中心に再び増加しています。流行の終盤に近づいていますが、今しばらくは小流行が続く可能性がありますので、マスクの着用や手洗い・うがいなどのインフルエンザ予防を引き続き励行してください。






感染性胃腸炎は年末をピークに一旦減少していましたが、2 月以降県下全域で増加が続いています。病原体はノロウイルスが減少し、代わってロタウイルスの検出が増加しています。ロタウイルスは乳幼児の嘔吐下痢症の主要原因として知られ、脱水を伴って症状が長引く例もみられています。今後しばらくは乳幼児を中心とした患者の増加に注意が必要です。インフルエンザ予防を含め、手洗い・うがいを心がけてください。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は宇和島地区で再び多発し、その他の地区では散発が続いています。水痘（みずぼうそう）は南予と四国中央地区で多発しています。流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は小流行が続いていますが、東予で特に増加しています。今後の動向にご注意ください。

## 県内での感染症発生状況



全数把握感染症 四類感染症 : A 型肝炎 1 例

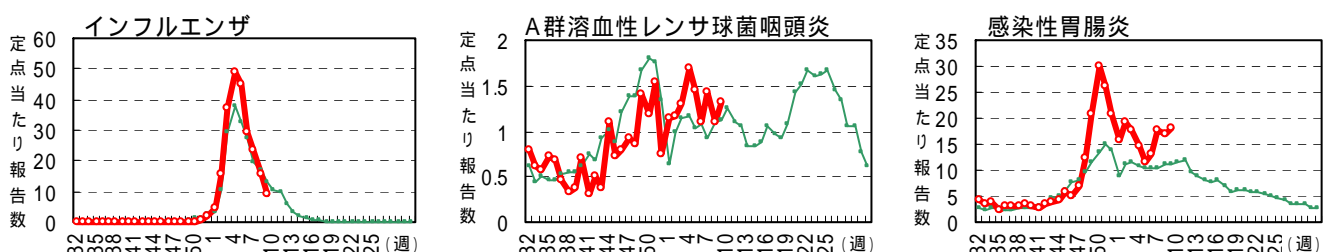
定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載）

	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	 9.3	ピークは過ぎたが、今後 A ソ連型や B 型の動向に注目。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	 1.3	宇和島地区で再び増加し多発。他の地区では散発。
感染性胃腸炎	 17.9	2 月以降県下全域で増加し多発。流行の主流がロタウイルスに代わる。
水痘	 2.8	南予と四国中央地区で多発。
流行性耳下腺炎	 2.1	東予で増加し多発。他の地区では散発。

## 解析評価委員のコメントから

- インフルエンザ** : 新居浜市では一旦減ってきたのが再び増えてきています。分離されたウイルスの結果からみると、A 香港型の流行がピークを過ぎてから、A ソ連型の小流行が続いているように思えます。A 型に 2 回罹患の報告が散見されます。また、迅速検査で B 型の報告も少数出ています。幸いなことに当地では今季まだ脳症の報告を聞きません。（東予）  
減少してきました。ほとんど A 型で、B 型は散発的で少数です。しかし一部の学校では集団発生が見られており、もう少し続くかもしれません。（中予）  
当院ではインフルエンザ検査実施数が激減してきており、陽性はほとんどが B 型です。（南予）
- 咽頭結膜熱** : 多くはありませんが、咽頭結膜熱も結膜炎を伴わないアデノ感染症も続いています。（東予）  
高熱が続くケースで、アデノウイルス感染症が多く見られます。（中予）
- A 群溶菌菌咽頭炎** : 横ばい状態です。施設によっては多発しているところもあるようです。（中予）
- 感染性胃腸炎** : 検出結果からロタが中心のようで、嘔吐・下痢ともに症状が長引く人が増えています。（東予）  
ロタウイルスと思われる胃腸炎が多いのですが、脱水が強く入院を要するケースも少なくありません。細菌性ではカンピロバクターが多いようです。（中予）  
年末の主体はノロウイルスでしたが、このところの胃腸炎はロタが多そうです。（南予）

過去 30 週の動向 (  : 過去 30 週の動向、  : 過去 10 年の平均 )



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
本感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.jp) までお願い致します。

病原体検出情報

平成 18 年 3 月 8 日現在

感染性胃腸炎は、再度増加に転じてからここ 3 週ほど、患者数が横ばいで推移していますが、これはロタウイルスの流行によるものと思われます。2 月中の検体 25 例中、ロタ 11 例、ノロ 9 例、アデノ 2 例（ノロ・アデノ、ロタ・ノロの重複感染あり）が検出され、ロタウイルスの検出率が増加しています。また、カンピロバクターも検出されています。

インフルエンザは、患者数の減少に伴い検体数も減ったものの、東予・中予地区から A ソ連型、A 香港型がそれぞれ検出されています。第 9 週の検体から分離した、インフルエンザ様ウイルス 2 株を同定中です。

週別インフルエンザウイルス分離状況

インフル型別	週 期間	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
		12/26-	1/2-	1/9-	1/16-	1/23-	1/30-	2/6-	2/13-	2/20-	2/27-	
A ソ連型	西条市							1	1	3		5
	今治市				2							1
A 香港型	四国中央			2								2
	西条市	4	2	4	3	4	2	1	1	1		22
計	今治市			1	3	4	7					11
	松山市		2	1	2	2	1	1	1	1		7
計		4	4	8	8	11	12	2	2	2		53
計		4	4	8	10	13	13	3	3	5	1	64

過去 5 週 検出病原体（インフルエンザウイルス以外）

（1 月 30 日以降採取検体）

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
5	1/30~2/5	西条	感染性胃腸炎	ロタ	糞便	1
		松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
			不明熱	カンピロバクター	糞便	1
		松山	不明熱	アデノ 2	咽頭ぬぐい液	1
			上気道炎	アデノ 2	咽頭ぬぐい液	1
6	2/6~2/12	宇和島	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	2
		四国中央	感染性胃腸炎	ノロ・アデノ	糞便	1
			感染性胃腸炎	ロタ・ノロ	糞便	1
		西条	感染性胃腸炎	ロタ	糞便	1
			感染性胃腸炎	ロタ	糞便	1
7	2/13~2/19	今治	感染性胃腸炎	ロタ	糞便	1
		松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
			急性脳炎・脳症	アデノ 3	糞便・咽頭ぬぐい液	1
		宇和島	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	3
			感染性胃腸炎	アデノ	糞便	1
8	2/20~2/26	今治	感染性胃腸炎	アデノ	糞便	1
		松山市	A 群溶レン菌咽頭炎	A 群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	ロタ	糞便	3
9	2/27~3/5	西条	感染性胃腸炎	ロタ	糞便	1
		松山市	感染性胃腸炎	ロタ・ノロ	糞便	2
		松山市	感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1

月別病原体検出結果

臨床診断名別検出結果

（2005 年 1 月以降採取検体）

検出病原体	検体採取月			2006			合計
	2005			1	2	3	
コクサッキー - A5	1	1					2
コクサッキー - A9	4	1					5
コクサッキー - A10	4	2	1				7
コクサッキー - A16	6	3					9
コクサッキー - B3	1						1
ポリオ 2	1	1					2
インフル A ソ連				5	6		11
インフル A 香港			4	40	9		53
RS	6	4	5	2			17
ムンプス	1	6	7	1			15
ロタ				2	11		13
アストロ		1	4				5
ノロ	2	11	54	29	9		105
サボ		5	9	5			19
アデノ			1	1	2		4
アデノ 1			1				1
アデノ 2		1	1	2	1		5
アデノ 3	3	10	6		1		20
アデノ 5				2			2
アデノ 6			1				1
単純ヘルペス 1			1	1			2
ウイルス 計	29	46	95	90	39		299
細菌	下痢原性大腸菌	1	1		2		4
	カンピロバクター	4	2	1	6	1	14
	A 群溶レン菌			3	2	1	6
細菌 計	5	3	4	10	1	1	24

検出病原体	インフル	インフル	A 群溶	感染	流行	急性	下	上	不	発	合
	フル	フル	レン	性	性	性	気	気	明	疹	計
	エン	エン	菌	胃	性	脳	道	道	熱	症	
	ザ	ザ	咽	腸	下	炎	炎	炎		・	
			頭	炎	腺	・				不明	
			炎		炎	脳				発	
						症				疹	
										症	
インフル A ソ連	4	1					2	3	1		11
インフル A 香港	42						1	1	4	1	49
RS							1	1			2
ムンプス					1						1
ロタ				13							13
ノロ				37		1					38
サボ				5							5
アデノ				3							3
アデノ 2								1	2		3
アデノ 3										1	1
アデノ 5									2		2
単純ヘルペス 1										1	1
ウイルス 計	46	1		58	1	2	4	6	10	1	129
下痢原性大腸菌				2							2
カンピロバクター				7							7
A 群溶レン菌				3							3
細菌 計				3	9						12

愛媛県 定点把握五類感染症 2006年 第 9 週 (2006.2.27 ~ 3.5)

	患者報告数	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		1) インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	2) 麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
保健所別	四国中央	26				43	22			2				16	-	-						四国中央
	西条	136		3	2	84	12			8				28		3						西条
	今治	75	2	1	3	65	7			8				5		10		1				今治
	松山市	148	2	7	19	295	9	2		8		1		20	1	4	-	-	-	-	-	松山市
	松山	52		2	4	77	20	1		1				2								松山
週推移	愛媛県	566	5	13	49	662	104	3		36		2		78	1	20		1				愛媛県
	1週前	967	3	17	41	621	108	1	4	38	2	2		73		21			2			1週前
年齢別	-6ヶ月	3	1			13	2															0
	-12ヶ月	10	1			60	4			20				1								1-4
年齢別	1	36	2	2	2	103	14			15				5				1				5-9
	2	47	1	2	1	86	13			1				8								10-14
	3	51		1	3	75	24	2				1		5		2						15-19
	4	52		3	10	66	17	1				1		19								20-24
	5	61		4	7	51	16							17		1						25-29
	6	66			7	47	6							5		1						30-34
	7	36			8	37	3							7		1						35-39
	8	27		1	1	31								1								40-44
	9	29			2	31	3							1								45-49
	10-14	78			8	44	2							7								50-54
	15-19	9				4										1						55-59
	20-29 <sup>5)</sup>	11				14								2		5						60-64
	30-39	28													1	2						65-69
	40-49	9														3						70-
	50-59	5														2						
	60-69	2														1						
70-79 <sup>6)</sup>	5														1							
80-	1														1							

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	5.2				14.3	7.3			.7				5.3	-	-						四国中央
	西条	13.6		.5	.3	14.0	2.0			1.3				4.7		3.0						西条
	今治	9.4	.4	.2	.6	13.0	1.4			1.6				1.0		10.0		1.0				今治
	松山市	8.7	.2	.6	1.7	26.8	.8	.2		.7		.1		1.8	.3	1.3	-	-	-	-	-	松山市
	松山	7.4		.5	1.0	19.3	5.0	.3		.3				.5								松山
愛媛県	八幡浜	12.9			1.3	21.3	3.5			1.0		.3		.5		3.0						八幡浜
	宇和島	5.6	.3		4.0	3.3	5.0			1.3				1.3								宇和島
愛媛県	9.3	.1	.4	1.3	17.9	2.8	.1		1.0		.1		2.1	.1	2.5		.2					愛媛県

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は3月8日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2006年 第 8 週 (2006.2.20 ~ 2.26)

	患者報告数	小児科定点											眼科定点		基幹定点									
		1) インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	2) 麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎	成人麻しん	
保健所別	四国中央	33			1	46	10			3				9	-	-							四国中央	
	西条	179	2	7	4	81	25		2	4				21		1							西条	
	今治	98		2	2	44	17		2	8				4		9				1			今治	
	松山市	283	1	4	17	294	9	1		14	2			23		7	-	-	-	-	-	-	松山市	
	松山	146		4	4	74	9			2				8									松山	
週推移	愛媛県	967	3	17	41	621	108	1	4	38	2		2	73		21			2				愛媛県	
	1週前	1435	10	10	53	660	105	2	2	45			1	53		9		1	1				1週前	
年齢別	2週前	1780	8	5	41	485	101		1	38			1	42		10			3				2週前	
	3週前	2727	8	14	54	432	119	4	3	30				47		20			5				3週前	
年齢別	-6ヶ月	6				10				6													0	
	-12ヶ月	11	2	1		47	5		2	21													1-4	
	1	63		1		102	22	1		9			2	6		1							5-9	
	2	68	1	3	3	81	28			2				6					1				10-14	
	3	66		3	4	51	13							7									15-19	
	4	87		3	7	65	15				2			17									20-24	
	5	95		1	7	67	11		1					14		2							25-29	
	6	90		2	5	43	10							11										30-34
	7	86			7	35	2							9										35-39
	8	59				32								2										40-44
	9	59		1	5	26	1		1															45-49
	10-14	95		2	3	48	1							1										50-54
	15-19	20				4										2								55-59
	20-29 <sup>5)</sup>	30				10										4								60-64
	30-39	41														3								65-69
40-49	36														3								70-	
50-59	17														4									
60-69	13														2									
70-79 <sup>6)</sup>	13																							
80-	12																							

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	6.6			.3	15.3	3.3		1.0				3.0	-	-								四国中央	
	西条	17.9	.3	1.2	.7	13.5	4.2		.3	.7				3.5		1.0							西条	
	今治	12.3		.4	.4	8.8	3.4		.4	1.6			.2	.8		9.0			1.0				今治	
	松山市	16.6	.1	.4	1.5	26.7	.8	.1		1.3	.2			2.1		2.3	-	-	-	-	-	-		松山市
	松山	20.9		1.0	1.0	18.5	2.3			.5				2.0										松山
愛媛県	八幡浜	22.4			1.3	16.0	3.8		1.0				.3	.8		4.0			1.0				八幡浜	
	宇和島	10.1			2.0	4.5	5.8		.8					1.3									宇和島	
愛媛県	15.9	.1	.5	1.1	16.8	2.9	.0	.1	1.0	.1		.1	2.0		2.6			.3					愛媛県	

- 1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。  
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は3月1日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 全数把握感染症 第8、9週 (2006.2.20 ~ 3.5)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																							
	疾病名	(2) コレラ	(3) 細菌性赤痢	(5) 腸チフス		(6) パラチフス	(1) 腸管出血性大腸菌感染症	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノкокクス症	(6) オウム病	(8) Q熱	(11) コクシジオイデス症	(15) つつが虫病	(16) デング熱	(18) 日本紅斑熱	(19) 日本脳炎	(23) 発しんチフス	(24) ボツリヌス症	(25) マラリア	(26) 野兔病	(27) ライム病	(29) レジオネラ症	(30) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) ヤコブ病	(6) クロイツフェルト・ ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌 感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) 黄色ブドウ球菌感染症	(14) 腸球菌感染症	(14) バンコマイシン耐性 腸球菌感染症				
第8・9週報告数	愛媛県							1																																				
	保健所別	四国中央																																										
		西条																																										
		今治																																										
		松山市																																										
		松山							1																																			
		八幡浜																																										
宇和島																																												
週推移	愛媛	9週																																										
		8週																																										
		7週																																										
		6週																																										
		愛媛																																										
2006年累積数	愛媛県					5	1					1													1	1																		
	保健所別	四国中央																							1	1																		
		西条																																										
		今治																																										
		松山市																																										
		松山																																										
		八幡浜																																										
宇和島																																												

・表中の報告数は医療機関からの届出数を保健所ごとに集計したもので、患者の住所を示すものではありません。  
 ・医療機関からの報告日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.3.8集計)

愛媛県 定点把握五類感染症（月報） 2006年 2月

患者報告数		STD定点									基幹定点							
		性器クラミジア感 染性症			性器ヘルペス ルス感染症			尖圭 コンジロー マ			淋 菌感 染症				ド メ チ シ リ ン 耐 性 黄 色 ブ ドウ 球 菌 感 染 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	葉 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症	
		総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性					
保 健 所 別	四国中央	2	2													四国中央		
	西条												4			西条		
	今治												1			今治		
	松山市	6	2	4	1		1	3	2	1							松山市	
別	松山	1	1		2	2		1	1				3	3		3	松山	
	八幡浜												1	1			八幡浜	
	宇和島							1		1					8		宇和島	
月 推 移	愛媛県	9	5	4	3	2	1	5	3	2	10	10	14	3			愛媛県	
	1月前	12	5	7	3	1	2	8	5	3	10	10	22	3			1月前	
	2月前	17	9	8	6	4	2	5	2	3	10	10	23	1			2月前	
	3月前	12	5	7	4	1	3	8	3	5	9	9	15	1			3月前	
年 齢 別	0																0	
	1-4													1			1-4	
	5-9																5-9	
	10-14																10-14	
	15-19							1		1							15-19	
	20-24	3	2	1				1	1		1	1					20-24	
	25-29	3	2	1				2	2		4	4					25-29	
	30-34	1		1	2	2		1		1	2	2					30-34	
	35-39	2	1	1	1		1			1	2	2					35-39	
	40-44										1	1			1		40-44	
	45-49																	45-49
	50-54																	50-54
	55-59														1			55-59
	60-64													1				60-64
	65-69																	65-69
	70-													12	1			70-

定点当たり報告数

保 健 所 別	四国中央	2.0	2.0														四国中央	
	西条												4.0				西条	
	今治												1.0				今治	
	松山市	1.5	.5	1.0	.3		.3	.8	.5	.3				-	-	-		松山市
別	松山	1.0	1.0		2.0	2.0		1.0	1.0				1.0	3.0				松山
	八幡浜												1.0	1.0				八幡浜
	宇和島							1.0		1.0								宇和島
愛媛県		.8	.5	.4	.3	.2	.1	.5	.3	.2	.9	.9	2.3	0.5				愛媛県

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
S T D 定 点	11	1	2	1	4	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は3月7日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第6、7週 (2006.2.6 ~ 2.19)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん <sup>2)</sup>	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 <sup>3)</sup>	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 <sup>4)</sup>	成人麻しん
6週	愛媛県	29.2	.2	.1	1.1	13.1	2.7		.0	1.0			.0		1.1		1.3			.5		
	近畿県	香川県	11.0		.6	.8	9.8	1.4	.1		.5	.0		.0	.9							
		徳島県	23.9	.4	.2	.5	7.7	1.7	.2		.5			.0		1.2	.8					
		高知県	20.9	.8	.1	.5	5.5	3.0		.0	.7	.0		.1	.5		1.0				.1	
	全 国	21.9	.1	.3	1.9	7.7	1.7	.1	.2	.5	.0	.0	.0	.9	.0	.7	.0	.0	.2	.0	.0	
	北海道	24.7	.0	.2	3.4	2.8	1.7	.0	.0	.4	.0		.0	.9		.4						
	東北	16.2	.1	.2	2.3	7.2	1.6	.1	.4	.4		.0	.1	1.0	.8		.0	.3	.0			
	関東	24.9	.0	.2	2.2	7.0	1.2	.0	.3	.5	.0	.0	.0	.6	.0	.8	.0	.0	.2			
	甲信越北陸	28.5	.0	.5	2.9	9.5	1.8	.1	.1	.5			.0	1.4	.0	.6	.0	.1	.0			
	東海	35.4	.1	.3	1.5	7.4	1.5	.2	.1	.5		.0	.0	.8	.0	.4		.1	.1			
近畿	17.3	.1	.2	1.2	6.1	1.5	.1	.1	.4	.0		.0	.6	.0	.5	.0	.1	.3		.0		
中国四国	17.2	.2	.3	1.3	10.2	2.1	.1	.2	.6	.0		.0	1.4	.0	.8		.0	.2	.0			
九州沖縄	14.0	.1	.4	1.6	10.4	2.9	.1	.2	.6	.0	.0	.1	1.5	.1	1.1	.0	.0	.1	.0			

(2006.2.16集計)

7週	愛媛県	23.5	.3	.3	1.4	17.8	2.8	.1	.1	1.2			.0		1.4		1.1		.2	.2	
	近畿県	香川県	7.2		.7	.6	9.0	1.5	.2	.2	.8				1.5						
		徳島県	14.7	.5	.2	.9	6.9	1.6		.2	.4				1.2	.3					
		高知県	31.6	.4	.1	.5	6.1	2.6	.0		.4			.1	.3	.7				.1	
	全 国	17.4	.1	.3	2.4	9.1	2.1	.1	.2	.6	.0	.0	.0	1.3	.0	.8	.0	.0	.2	.0	
	北海道	23.5	.0	.2	3.3	3.1	1.5	.0	.0	.4			.0	1.0		.5					
	東北	11.9	.1	.2	2.9	8.1	2.2	.1	.6	.6	.0	.0	.0	1.6	.0	.7			.2	.0	
	関東	19.8	.0	.2	2.8	8.4	1.6	.0	.3	.6	.0	.0	.0	1.0	.0	1.1			.2		
	甲信越北陸	27.7	.0	.4	4.1	10.5	2.1	.1	.1	.5			.0	2.0	.6		.0	.2			
	東海	27.3	.1	.3	1.7	7.9	1.9	.2	.2	.6		.0	.0	1.0	.0	.5			.2		
近畿	12.6	.1	.3	1.5	7.4	2.1	.1	.1	.5	.0	.0	.0	.8	.0	.4			.2	.0		
中国四国	13.2	.3	.3	1.7	12.9	2.4	.1	.2	.7	.0		.0	1.9	.7			.0	.1			
九州沖縄	10.0	.2	.4	2.1	12.4	3.4	.1	.3	.7	.0	.0	.1	2.1	.0	1.2	.0	.0	.2			

(2006.2.23集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。

## 全国 全数把握感染症 第6、7週 (2006.2.6 ~ 2.19)

類 型 疾病名		二類感染症				三類	四類感染症														五類感染症																		
		(2) コレラ	(3) 細菌性赤痢	(5) 腸チフス	(6) パラチフス		(1) 腸管出血性大腸菌感染症	(1) E型肝炎	(2) ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(8) Q熱	(11) コクシジオイデス症	(15) つつが虫病	(16) デング熱	(18) 日本紅斑熱	(19) 日本脳炎	(22) ブルセラ症	(23) 発しんチフス	(24) ボツリヌス症	(25) マラリア	(26) 野兔病	(27) ライム病	(29) レジオネラ症	(30) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌 感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) 黄色ブドウ球菌感染症
第6・7週報告数	全 国	1	15	4	2	13	2	8	1			1	2											14	12	7	3	5	24	1	1	8	3		2				
	四 国	愛媛県																								1													
		香川県																																					
		徳島県																																					
		高知県																																					
	ブロッケ別	北海道																																					
		東北							1	1																	1		1										
		関東	1	4	3	2	4	1	1																4	7	2	2	3	7	1		3	1					
		甲信越北陸					1		1																				1										
		東海			1		2		4																			2									1		1
近畿				10		2									2											3	1	1								1		1	
中国四国					2		1																	3	2			1	1					1	1				
九州沖縄			1		2	1							1												1									3					
週推移	全 国			8	1	9	1	3						1										8	4	3	1	3	14			5	2						
	7週																																						
	6週	1	7	3	2	4	1	5	1				1	1										6	8	4	2	2	10	1	1	3	1				2		
	5週	1	6	1		4		6																															
4週			2		1	4	3					2								1				3	4	2	3	6	3	9			7			2			
2006年累積数	全 国	5	54	9	2	61	9	38	5	4		12	4					4					49	66	24	36	1	23	19	128	8	3	60	5		5			
	四 国	愛媛県					5							1												1		1											
		香川県																																					
		徳島県					1																														1		
		高知県																																					
	ブロッケ別	北海道					2		1	5															2	1	2		2		5	1		1					
		東北					1		1	1																1	1	3	1		2			6				1	
		関東	3	19	7	2	11	4	8	1				2	1						3				11	27	9	10	9	6	65	1	3	19	1				
		甲信越北陸	1	8			8		1																6	2	2	2	4	4	8	5			4	1			
		東海			4	1	6	1	10						1						1				9	9	3	4	2	3	14				7			1	
近畿				19	1	9		7	2					2	3									13	19	6	5	1	2	4	24				2	1	2		
中国四国					14	1	8						2										7	2	1	6	1	1	6				3	1					
九州沖縄	1	2			10	3	2						5										1	5		6	2	1	4	1			18	1		1			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.2.23集計)